



コツコツ とこどん

大仙市立太田中学校
令和3年9月2日
NO. 58



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～



大槌に届け!! 太中生の想い

コロナ禍の影響で、今年度も現地での被災地交流は中止になりました。その代替として昨年同様、太田秋田ライオンズクラブ様、太田支所、太田公民館を始めとして、地域の方々のご協力を得て、150個のプランターの花を大槌学園に送りました。

また、現地に行つての交流ができない中で、花に加えて何らかの形で交流と絆の継続ができないか生徒会が話し合ってきました。そして、生徒会が考えた企画が、上の写真にあるメッセージポスターです。全校生徒の写真に大槌学園の皆さんへのメッセージを載せています。「大槌・太田に虹の架け橋を!」というメッセージ、ポスター右部のメッセージは、3年高階冴さん、服部浩大さん、伊藤咲季さん、大信田陸久さん、鈴木来都さん、藤澤淳弥さん、藤峰結菜さん、2年湯野澤果林さんが心を込めて書きました。ポスターに込めた太中生の想いが大槌学園の皆さんに伝わってくれればうれしい限りです。これが、花にポスターという気持ちを添えた今年度の心の交流です。



被災地交流に限らず、一つのことを長い間続けることはとても難しいことです。労力や資金に問題が生じ

たり、開始当初の目的や意識が希薄になったりマンネリ化したり、社会情勢が変化したり、病災害が発生したり、など様々な障害やアクシデントが起こります。しかし、続けることによって得られるものは、障害やアクシデントを凌ぐ大きな財産、教育的価値が高いものだと思います。多くの学校で徐々に終焉を迎えている被災地交流ですが、本校の子どもたちは、先輩方が築いてきた業績や取組に敬意と憧れをもち、誇りに思っています。そして、継承していこうとする気持ちを強くもっています。その意欲を大切にして、生徒・職員が交流の意義を常に認識・共有しながら、形の変化はあれ、新たな創造も加えながら、可能な限り継続していきたいと考えています。コロナが収束し、来年は現地で3年ぶりの交流ができることを願うばかりです。

なお、ポスターの写真は、本校HPのトップ写真としても使っています。HPもどうぞご覧ください。



おめでとう ～太中生の活躍～

第72回大曲仙北中学校英語暗唱弁論大会 (R3 8/27)

弁論の部 優秀賞 高階 冴
優良賞 小松 優奈

令和3年度西仙北中学校招待野球大会 (R3 8/28)
準優勝 野球部